



2016年9月期第3四半期 決算概要 (2015年10月1日～2016年6月30日)

シミックホールディングス株式会社

2016年7月29日

事業セグメントとグループ各社

青字表記は海外。※印は関連会社。

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2016年6月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援及び分析化学サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミックPMS(株) シミック・シフトゼロ(株) シミックファーマサイエンス(株) CMIC, Inc. CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC(Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC(Beijing) Co., Ltd.
CMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製造支援に係る業務	シミックCMO(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックJSRバイオロジックス(株) ※
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援及び医薬、製薬業界向けBPO・人材サービスに係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) (株)シミックBS エムディエス・シーエムジー(株) ※
ヘルスケア事業	SMO業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	シミックホールディングス(株) サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED
IPD事業	診断薬やオーファンドラッグなどの開発及び販売に係る業務	シミックホールディングス(株) (株)オーファンパシフィック

- 2015年10月1日付で(株)応用医学研究所は、(株)JCLバイオアッセイを吸収合併し、商号をシミックファーマサイエンス(株)に変更しました。
- 2016年4月1日付でシミックファーマサイエンス(株)は(株)シミックバイオリサーチセンターを、シミックCMO(株)はシミックCMO足利(株)を吸収合併しました。

2016年9月期 第3四半期 総括

Project Phoenix ~業績V字回復と持続的成長を目指して~

・ CRO事業

日本市場参入の支援業務と非臨床業務の強化

- 2015年10月 (株)応用医学研究所と(株)JCLバイオアッセイを合併し、シミックファーマサイエンス(株)として非臨床業務の機能強化
- 2015年11月 Medidata Solutionsとの連携強化によるEDCサービスの充実
- 2016年1月 オンコロジー領域の臨床開発・マーケティング等を支援するシミック・シフトゼロ(株)を設立
- 2016年4月 シミックファーマサイエンス(株)が(株)シミックバイオリサーチセンターを吸収合併、非臨床業務の更なる機能強化と効率化

・ CMO事業

構造改革の推進と新規受注の獲得

- 2015年10月 シミックCMO足利(株)における新注射剤棟建設計画を公表
- 2016年4月 シミックCMO(株)がシミックCMO足利(株)を吸収合併、国内CMO事業再編。

・ CSO事業

MR派遣業務の受注力強化とサービスモデル拡充

- 2015年10月 MR派遣業務において日本初の受託サービス「シンジケートセールスフォース」を開始

・ ヘルスケア事業

新規受注の獲得とコスト削減

・ IPD事業

黒字化に向けた売上拡大

- 2015年10月 (株)オーファンパシフィックがアステラス製薬株式会社より承継した「ダントリウム®」「アストミン®」を販売開始
- 2016年4月 体外診断用医薬品「ヒトL型脂肪酸結合蛋白キット」の高感度型が国内認証を取得

連結損益計算書 (要約)

	2015/3Q		2016/3Q		増減額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	40,808	100.0	46,236	100.0	5,427
営業利益	490	1.2	2,745	5.9	2,255
経常利益	204	0.5	2,440	5.3	2,235
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△425	△1.0	866	1.9	1,291
1株当たり 四半期純利益	△23円35銭		46円33銭		

セグメント別売上高及び営業利益

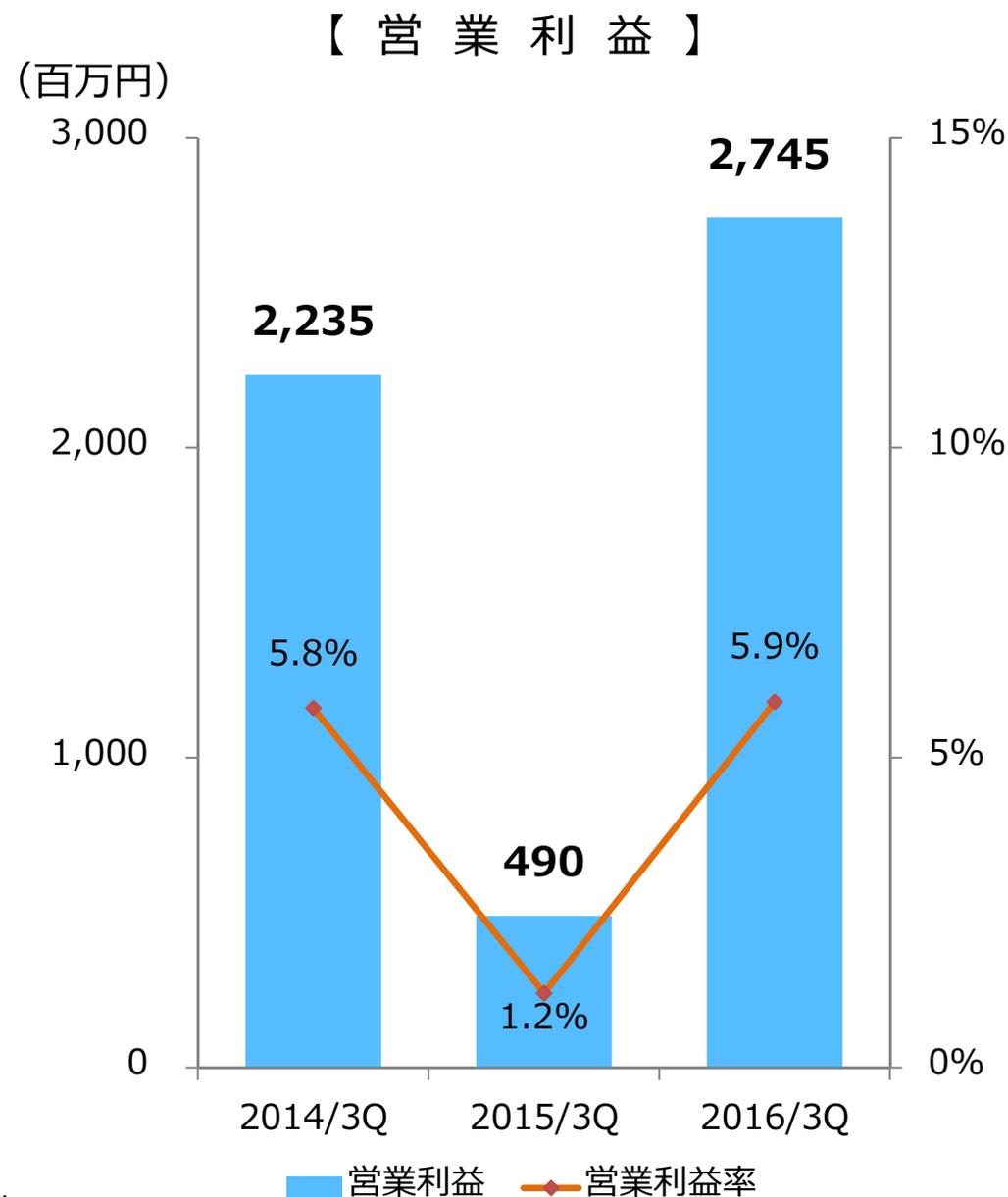
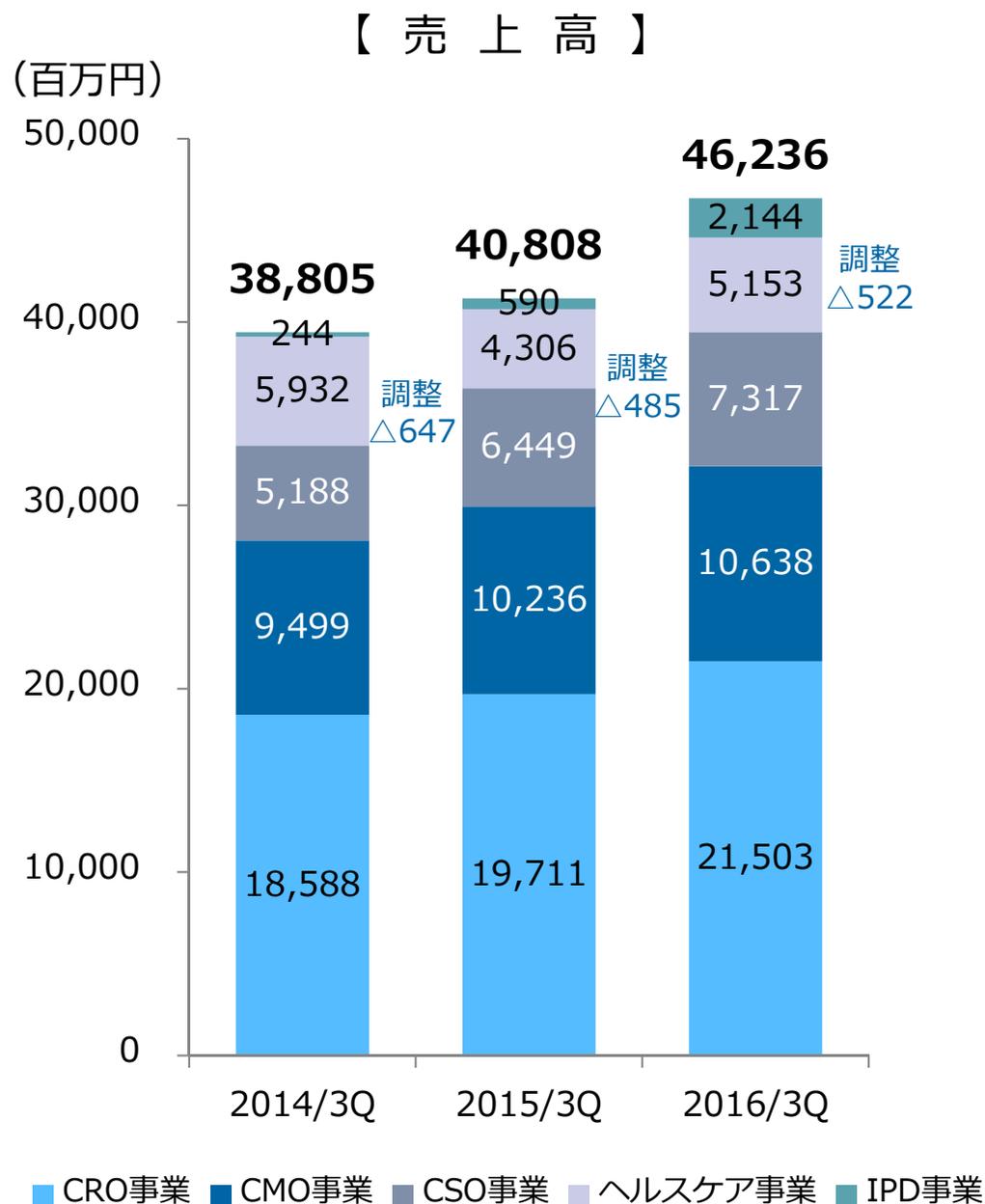
		2015/3Q	2016/3Q		
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	19,711	21,503	1,792	9.1
	営業利益	3,446	3,375	△70	△2.1
C M O 事業	売上高	10,236	10,638	402	3.9
	営業利益	△413	344	757	—
C S O 事業	売上高	6,449	7,317	868	13.5
	営業利益	538	831	293	54.6
ヘルスケア事業	売上高	4,306	5,153	846	19.7
	営業利益	△1,056	107	1,163	—
I P D 事業	売上高	590	2,144	1,553	263.0
	営業利益	△242	△67	175	—
調 整 額	売上高	△485	△522	△36	—
	営業利益	△1,781	△1,846	△64	—
合 計	売上高	40,808	46,236	5,427	13.3
	営業利益	490	2,745	2,255	459.8

受注高・受注残高

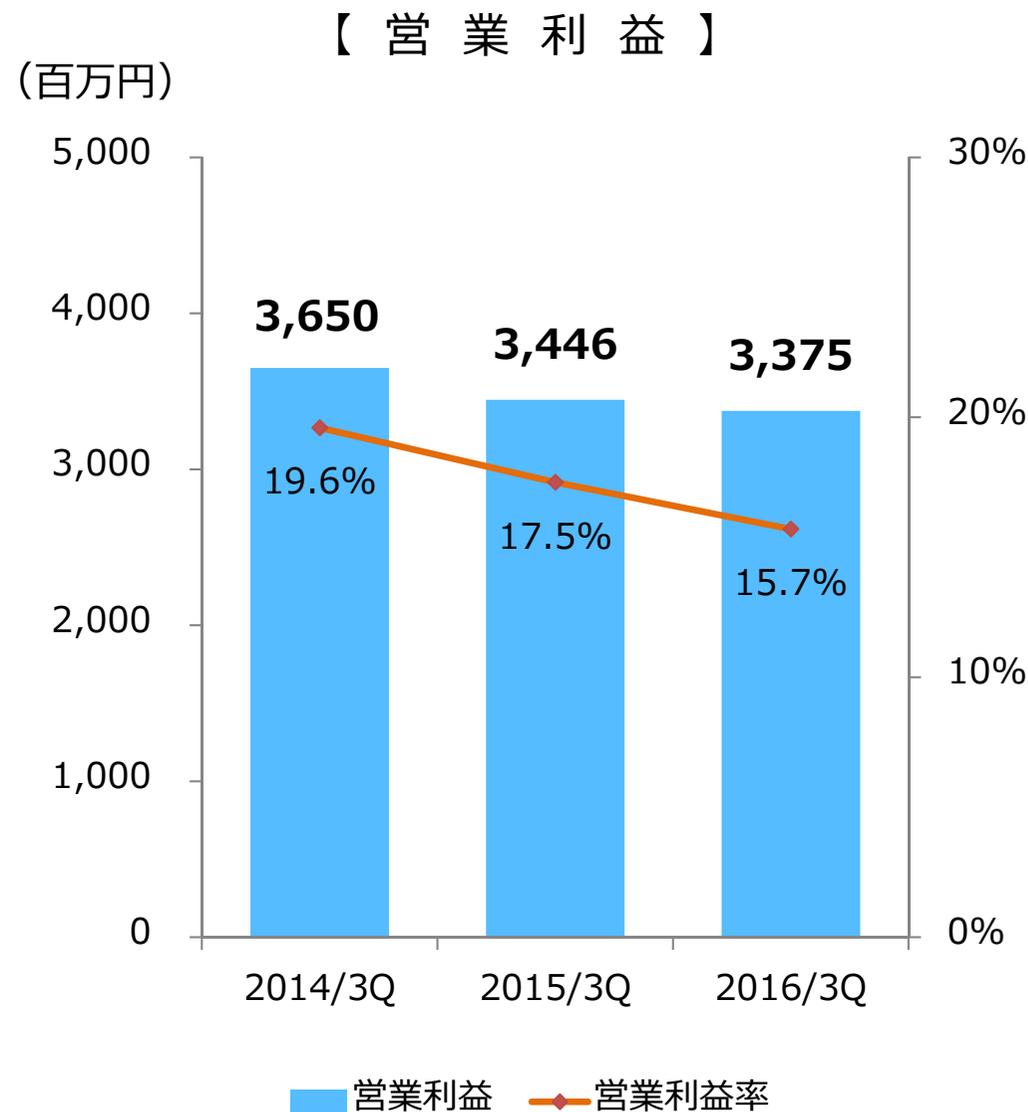
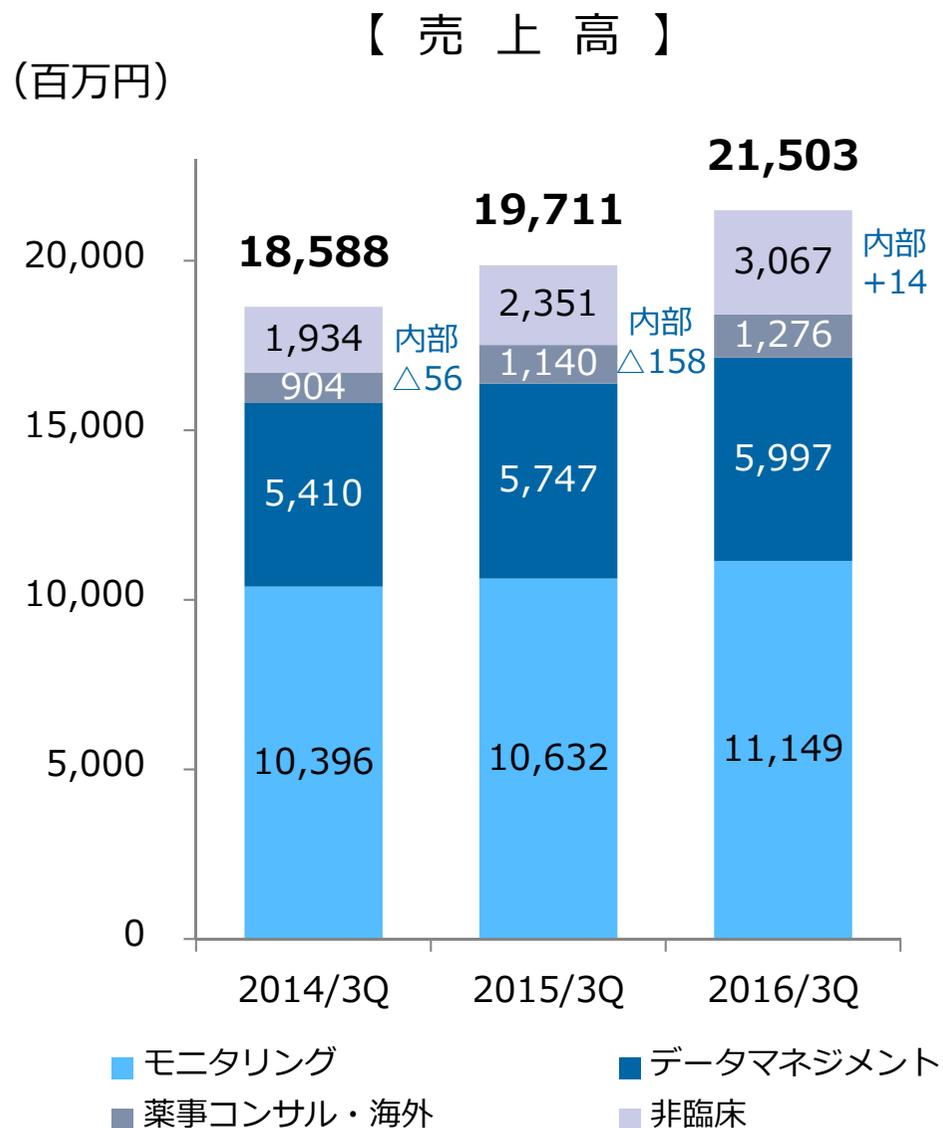
	2015/3Q		2016/3Q			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	24,286	42,852	23,010	△5.3	44,028	2.7
C M O 事業	10,276	3,722	10,845	5.5	3,467	△6.8
C S O 事業	8,472	7,876	4,587	△45.8	4,836	△38.6
ヘルスケア事業	4,589	8,592	5,605	22.1	9,404	9.5
I P D 事業	600	184	2,111	251.9	341	85.4
合 計	48,225	63,227	46,161	△4.3	62,079	△1.8

- ・2016/3Qにおいて、CRO事業、CSO事業の新規受注の遅れはあるが、足元は回復傾向。
- ・2015/3QのCRO事業の受注高には、2015/上期に連結子会社となったJCLバイオアッセイ（現シミックファーマサイエンス）、CMIC, Inc.の2社の2015/3末の受注残高1,959百万円を含む。
- ・CMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。

連結売上高および営業利益の推移

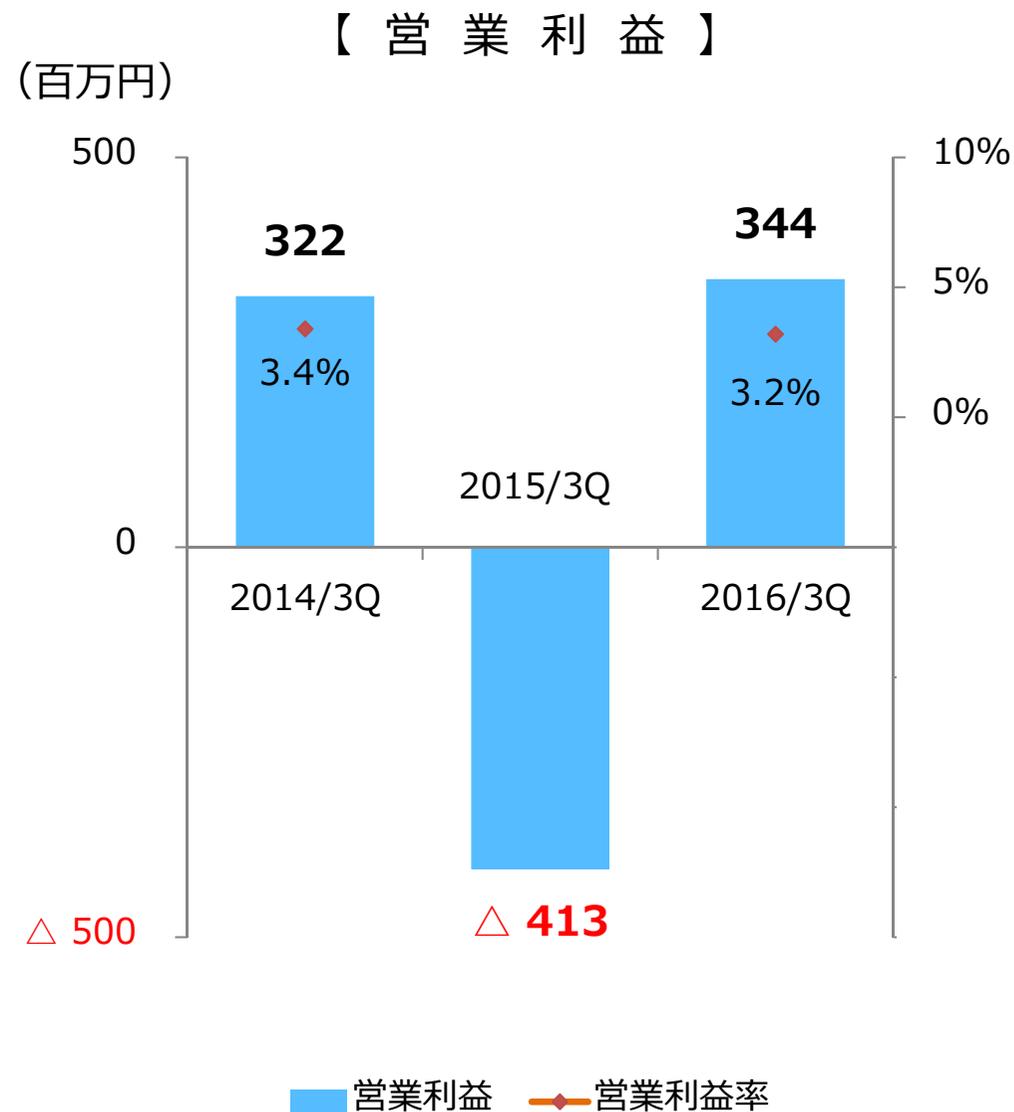
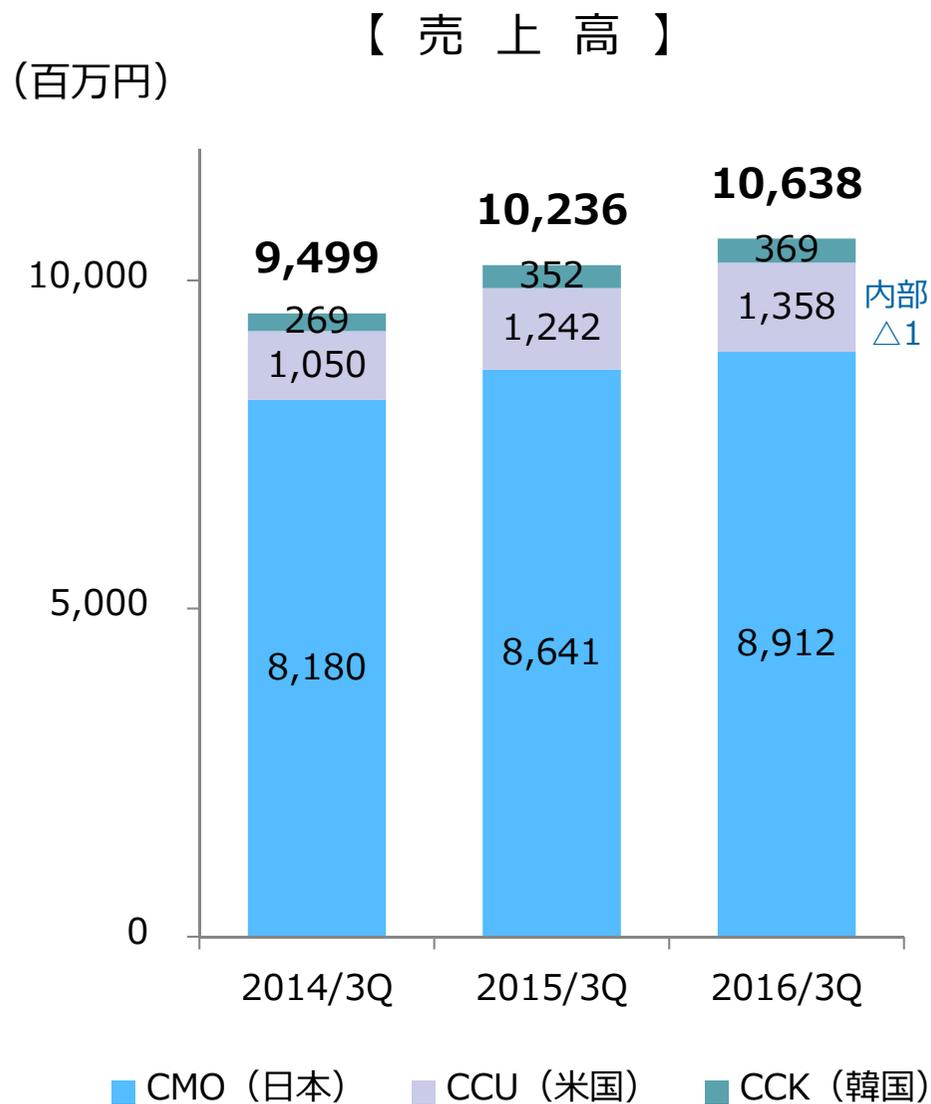


CRO（医薬品開発支援）事業



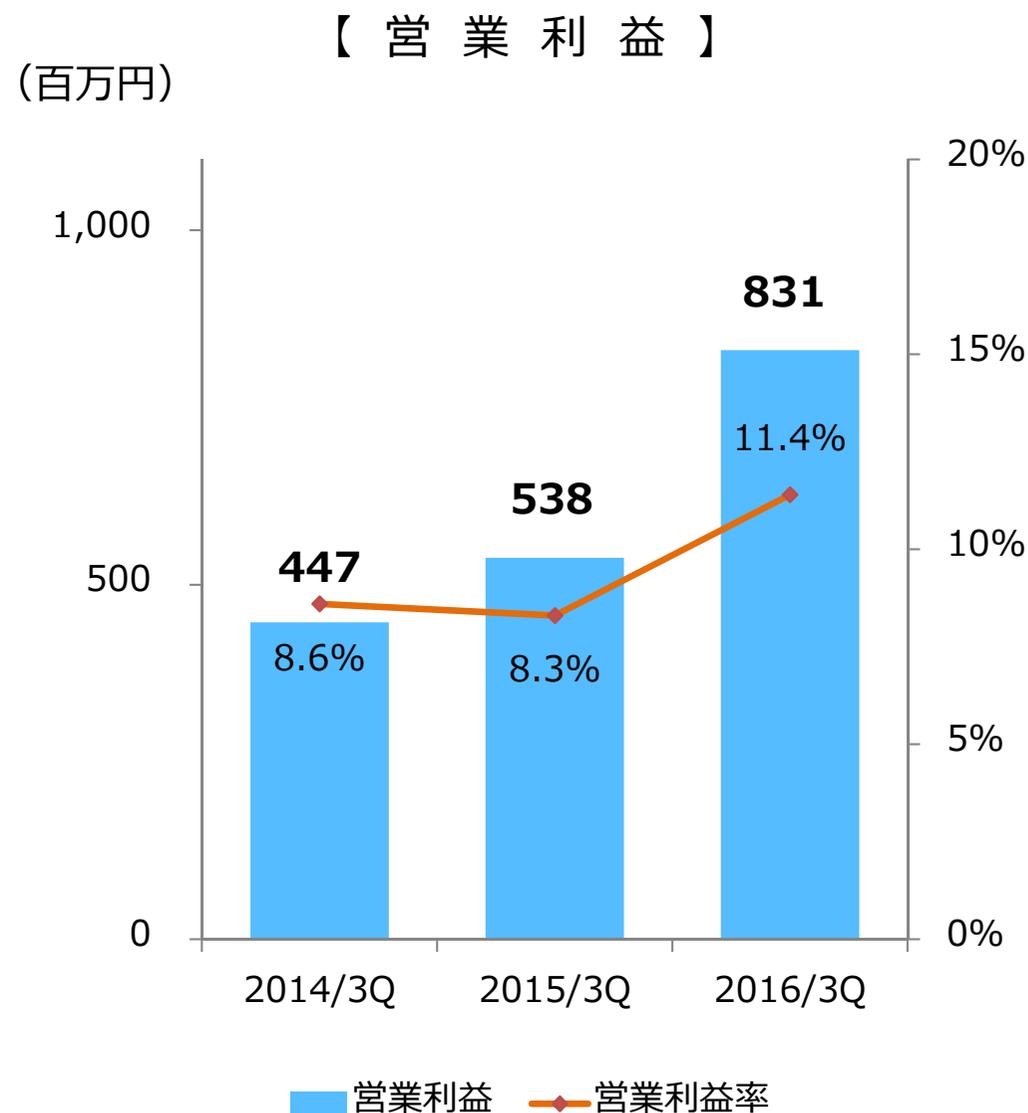
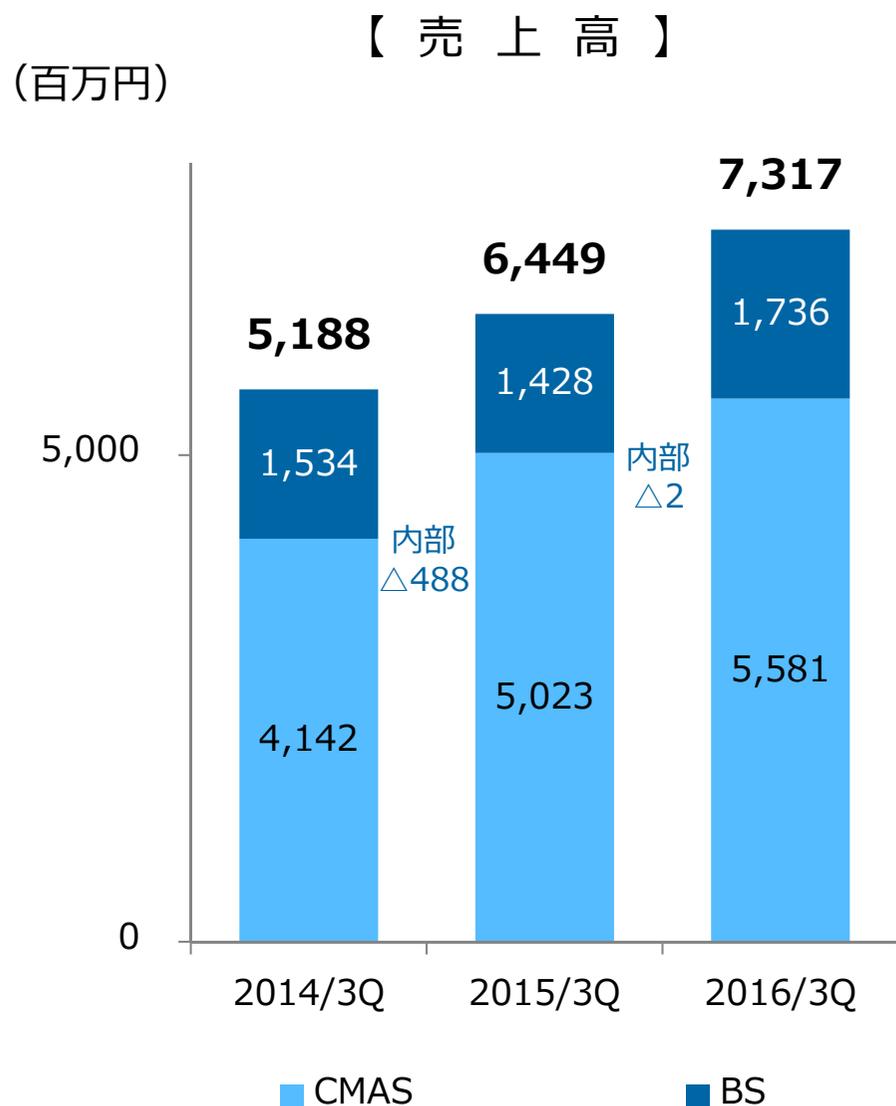
グローバル開発案件や治験国内管理人業務等を拡大。モニタリング業務及び市販後調査業務等における新規受注及び既存案件が堅調に進捗、JCLバイオアッセイの売上が加わったことにより売上高は前年同期を大幅に上回る。営業利益は、臨床業務が順調に推移したものの、非臨床業務の米国における体制整備の進捗の遅れやのれん償却費増加等の影響の結果、前年同期から微減。

CMO（医薬品製造支援）事業



構造改革の取組みにより、価格競争力を強化し営業活動を推進、治験薬の受託製造等、案件の引合いが増加傾向。売上高は新規案件の受託生産が堅調に進み前年同期を上回る。コスト構造改革取組みの効果により大幅に採算が改善し、営業黒字を計上。

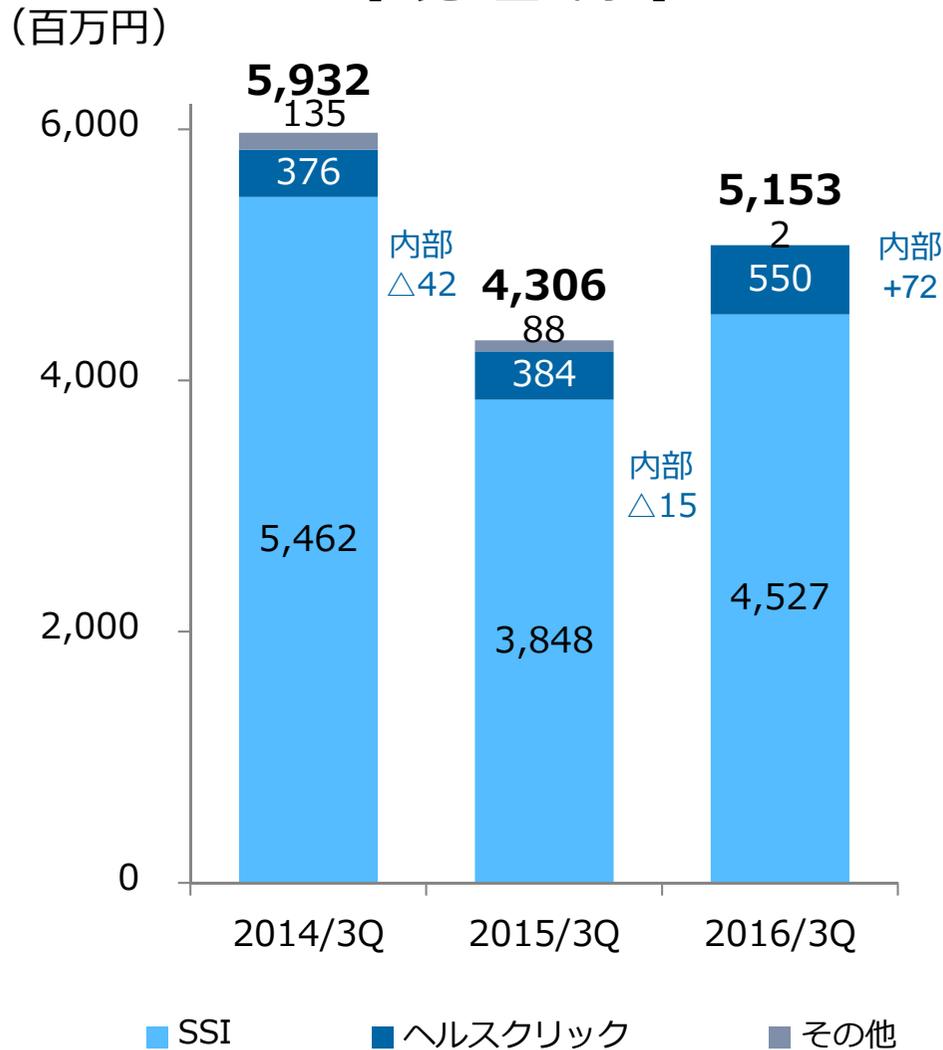
CSO（医薬品営業支援）事業



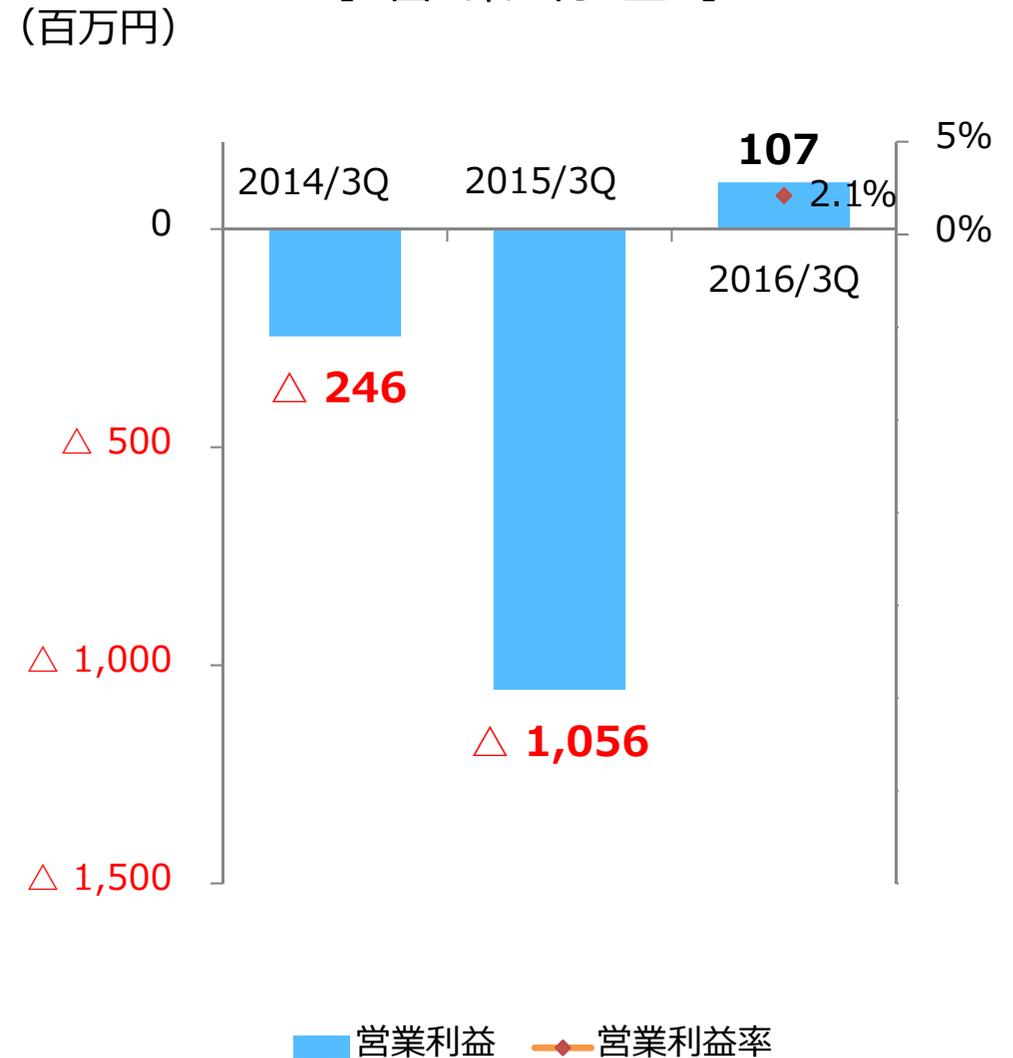
シミック・アッシュフィールドにおいて、受注力強化及び既存案件の着実な進行に取り組む。MR派遣業務において日本初の受託サービス「シンジケートセールスフォース」を開始するなどサービスモデル拡充を進める。MR派遣業務及びBPOサービスの既存案件が好調に進捗したことにより、売上高及び営業利益が前年同期を大幅に上回る。

ヘルスケア事業

【売上高】

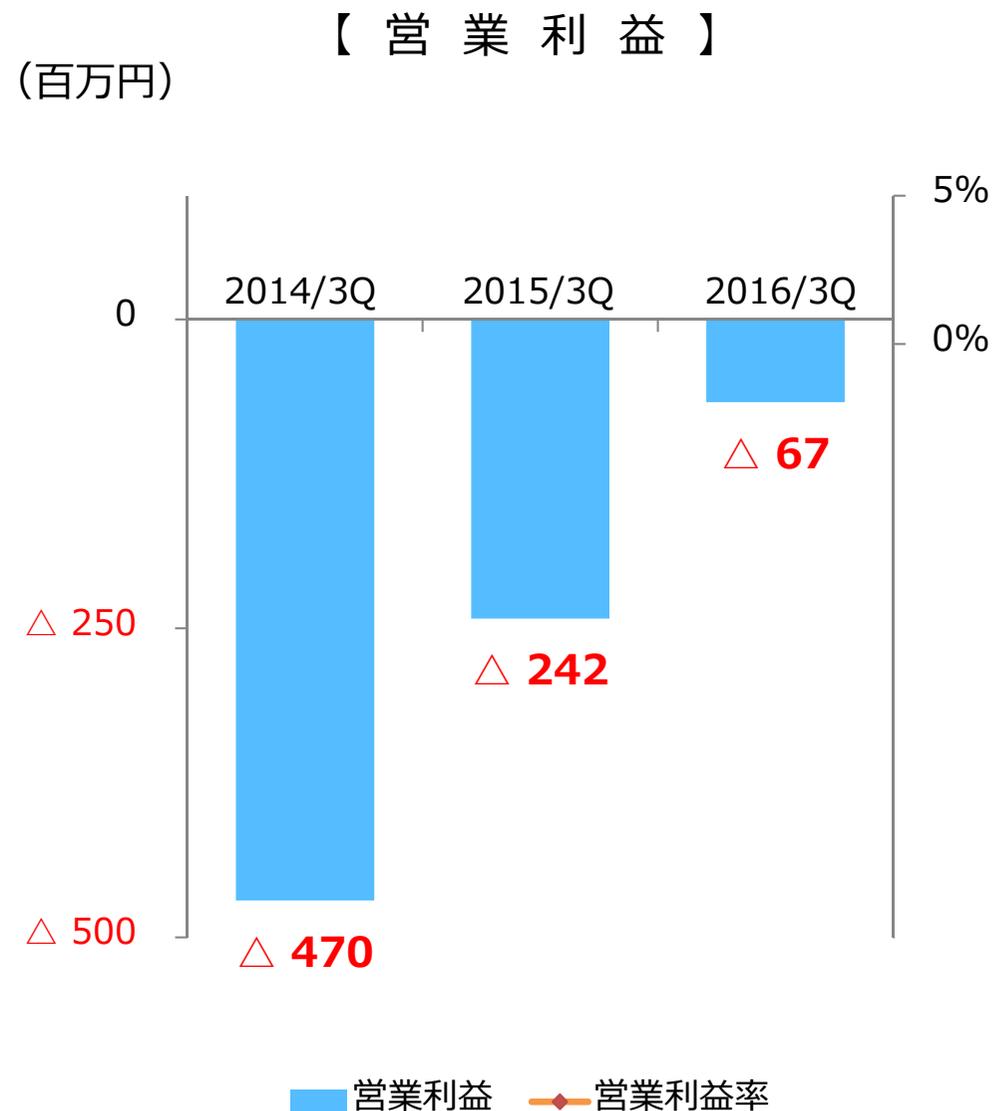
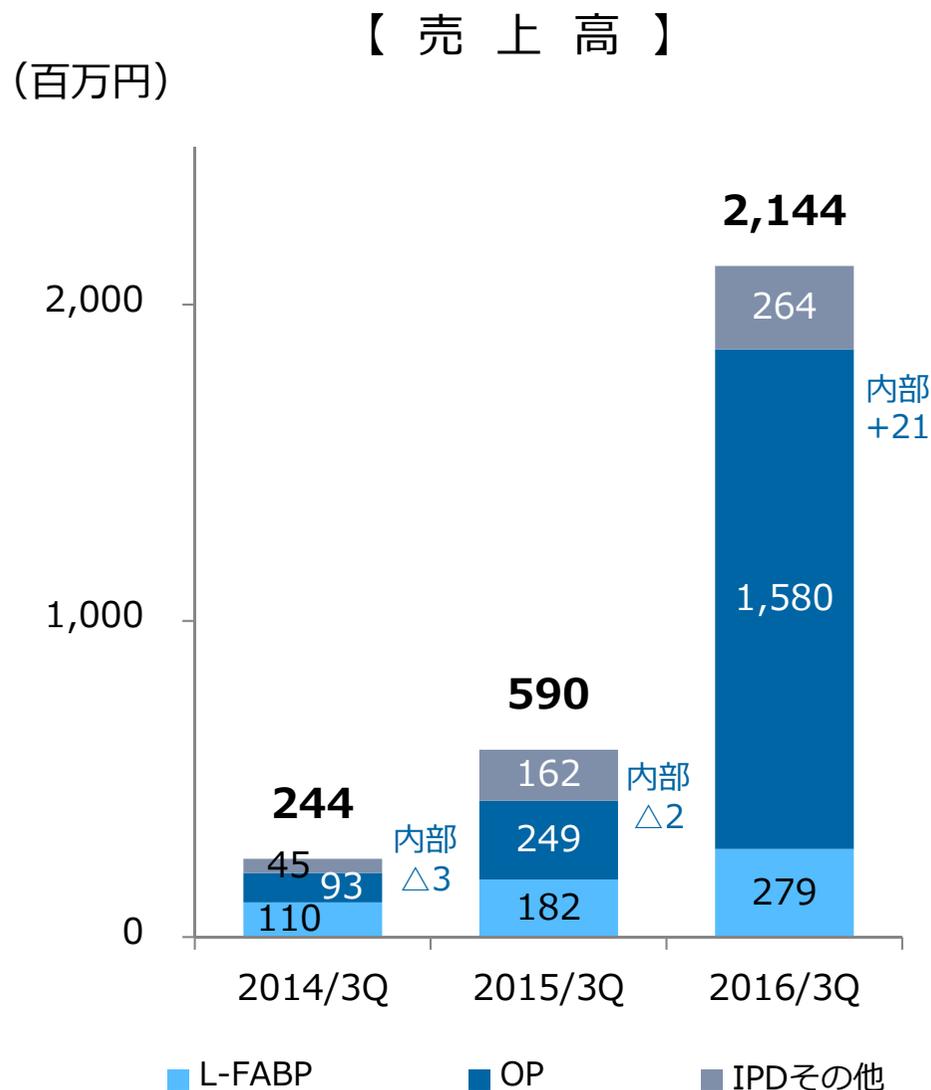


【営業利益】



業績の早期回復を図るため、コスト削減やプロジェクト管理の徹底などの施策を継続して推進。営業活動の強化、医療機関ネットワーク拡大の推進など新規受注獲得に邁進、受注は回復傾向。売上高は新規受注及び既存案件が堅調に進捗し前年同期を大幅に上回る。経営効率化施策の効果等により大幅に採算が改善し、営業黒字を計上。

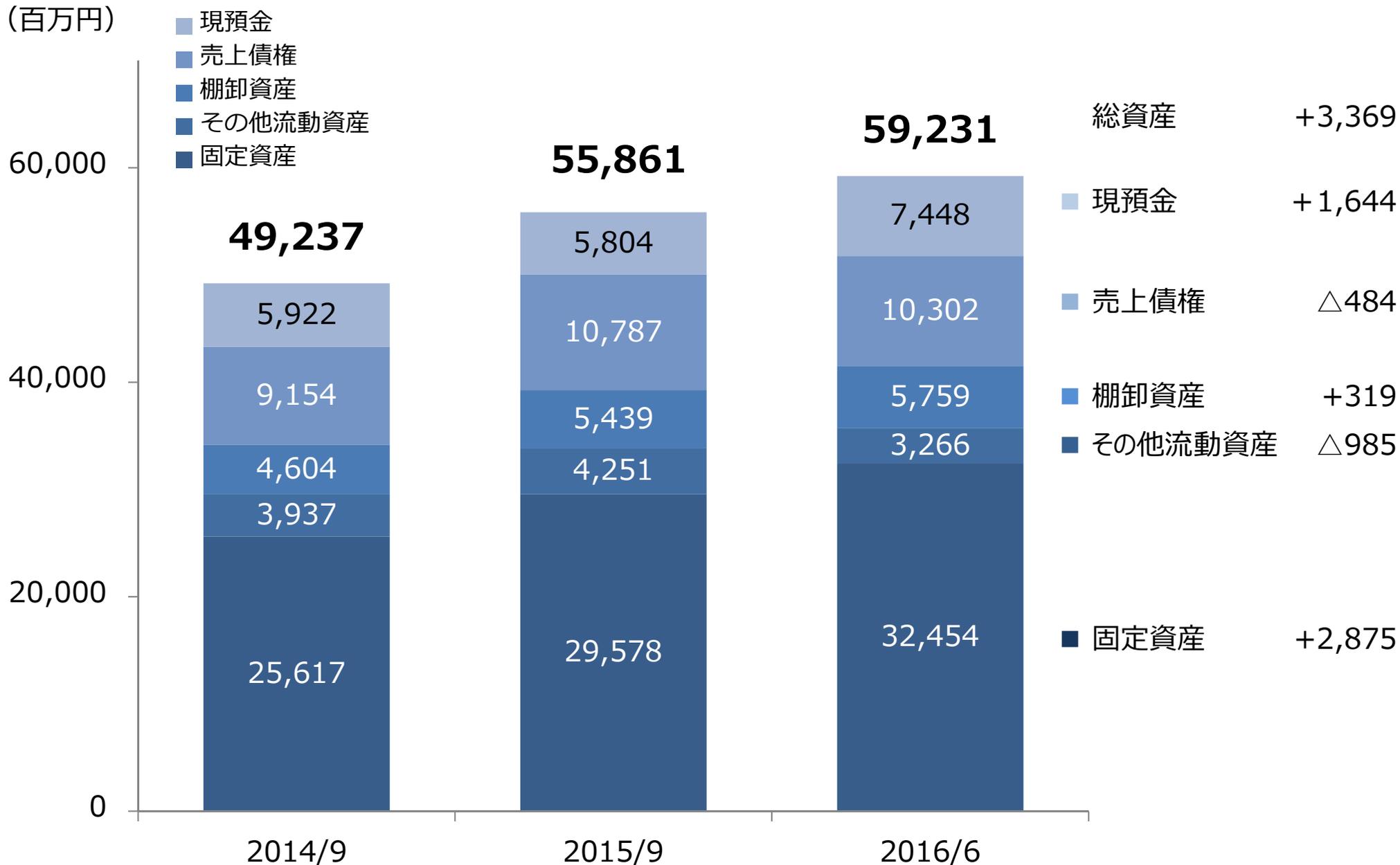
IPD（知的財産開発）事業



診断薬開発において、体外診断薬の高感度型が国内認証を取得、簡易検査（Dip-test）キットの開発に取り組む。製薬企業から製造販売承認の承継を受けたオーファンドラッグ等の販売及び製薬企業との共同販促を行うなど、売上規模の拡大を図る。診断薬及びオーファンドラッグ等の売上が増加したこと等により売上高が前年同期を大幅に上回り、営業損失を縮小。

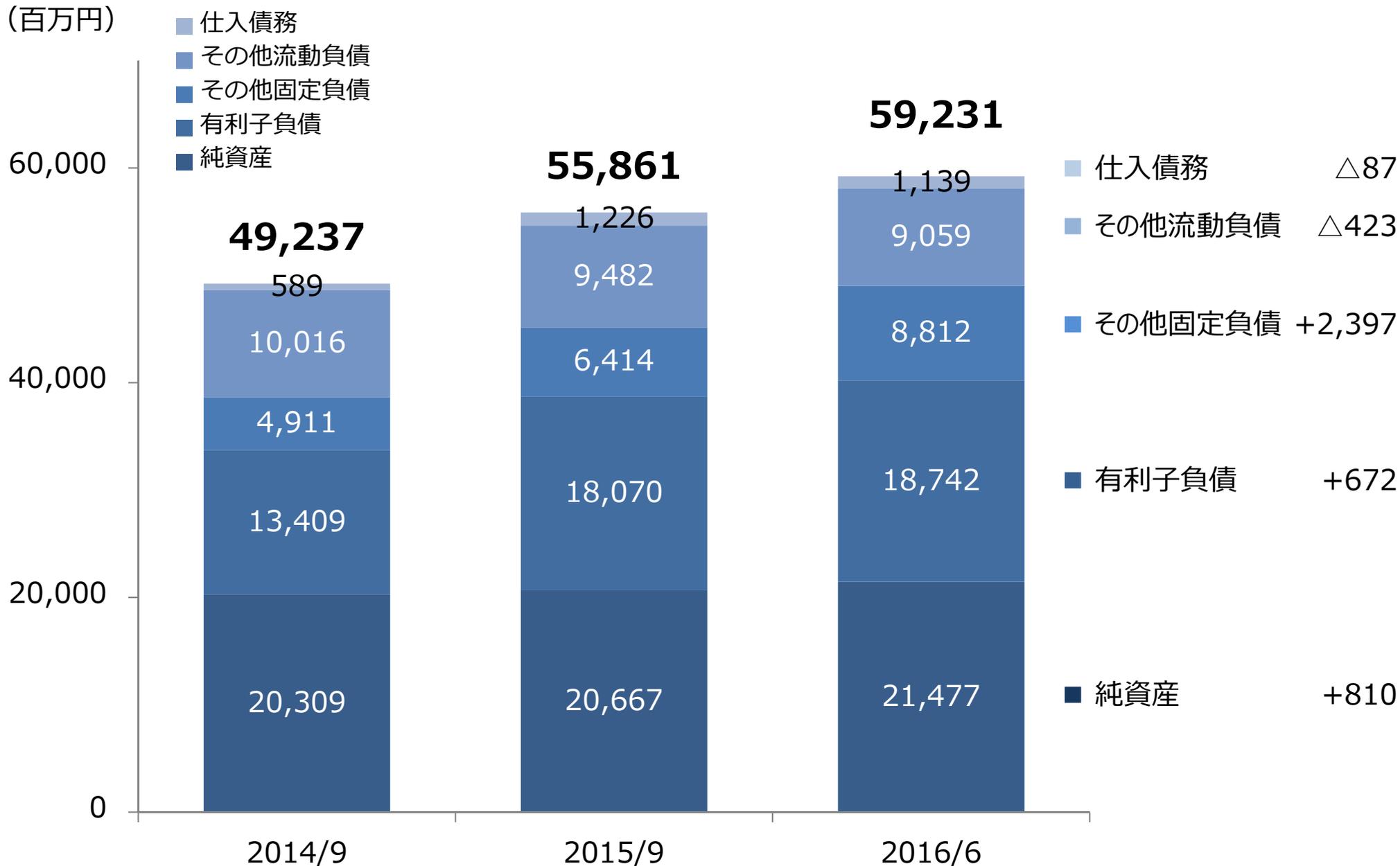
貸借対照表（資産の部）

(百万円)



貸借対照表（負債の部・純資産の部）

(百万円)



本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。